

直動製品の 自動車部品への 本格参入へ

THKは2015年4月22日、アメリカの自動車部品メーカーであるTRW Automotive Inc. (以下、TRW社)より欧州及び北米におけるL&S(リンケージ アンド サスペンション)事業を譲り受けることを発表しました。この度の事業譲受は契約締結日である4月21日から4ヵ月以内を期日としており、事業譲受に伴う業績への影響については確定次第速やかに公表することとしています。また、従来掲げている長期経営目標及び中期経営計画についても改めて見直していきます(2015年7月31日現在)。

THKは、1971年に直動製品であるボールスプラインと自動車部品であるリンクボールを開発して事業を開始しました。そのリンクボールを主体として、1999年には自動車部品事業を1つにまとめたFAI事業部を創設し、事業拡大を図る中、2007年にスチールに強みを持つリズム株式会社(現

THKリズム株式会社)を買収しました。2011年には東南アジアでの商圏拡大を目的として、TRW社よりアジア・パシフィック地域のL&S事業を譲り受け、順調に拡大してきました。そしてこの度、TRW社の欧州及び北米のL&S事業を譲り受けることとなりました。

譲り受ける事業の2014年度の経営成績は、売上高が550百万ドル、利息控除前税引前利益が39百万ドルとなっています。拠点としては、欧州ではドイツとチェコで2つの生産工場があり、加えてドイツに開発拠点があります。北米では工場がカナダに2つ、アメリカに1つとなっています。そして、今回THKに加わる人員は約2,170名となります。売上構成としては、用途別には乗用車が四分之三、商用車が四分の一となり、地域別には欧州と米州がほぼ同じ構成比となっています。また、この事業は欧米の主要な自動車メーカーのほとんどを顧客に持っており、これによりTHKがこれまで取り込めてこなかったメーカーがカバーされ、従来の顧客に加えてグローバルで顧客展開ができることとなります。

THKは、この度の事業譲受を契機に、ボールジョイントの分野でも世界No. 1のメーカーとなることを目指していきます。その先には、THKの主力製品であるLMガイドをはじめとした直動製品を自動車の重要保安部品としての採用拡大に努めていきます。

